



学校だより

和歌山市立四箇郷小学校

平成30(2018)年度:No.35

5月号No.3文責/校長:上田 仁

児童にかかわる事故や事件がニュースで報じられるたびに心が痛みます。お家の方々もまた同様でしょう。本校の校区の状況から考えると、交通事故の危険性が真っ先に頭に浮かぶこともまた同じかもしれません。

R24沿いの歩道はずいぶん広くなりました。自分が教頭の頃の9年前、自転車で回るのが縁石と溝との間の本当に狭いところを走っていましたから。特に松島付近がそうだった記憶があります。校長として赴任して1年と2カ月余り、その間でも道路環境は良くなりました。正門と裏門付近にある注意書きと看板。一里塚付近の歩道の設置。人と車を区別した信号になった刑務所前の交差点など。さらに計画の段階で詳細はお伝えできませんが、通学路の拡張工事も計画されているとのこと。本当にありがたいかぎりです。

No Image

No Image

ここで皆様にお尋ねしますが、こういった地域の環境の改善については、どんな仕組みでどんな手順でことが運ばれているかご存知でしょうか？ 自分もえらそうなことは言えませんが、少なくとも皆様よりも、その方々との時間と場を共有させていただく機会もあり、そのところは自信をもって言えます。

私たちの知らない時間に会議をしたり、知らないところへお願いに行ったり、私たちが知らない人と話をつめ、知らないところで汗をかいている方々がこの地域にいらっしやることを忘れてはなりません。通学路の安全対策ひとつをとってもそうなんです。ゆえに、地域と手を取り合わなくては学校運営が立ちゆかないのは当然でしょう。

今日、朝の時間を使って防犯ブザーの学習を各クラスでしています。お家の方に協力していただくことをまとめたお便りも担任から配っています。交通事故や水の事故よりも危険性は少ないと思っている方もいらっしやるかもしれませんが、児童が巻き込まれる事件は、どの地域でも起こりうると思うのが当然でしょう。ただ、少しの心がけでそのリスクを減らすことは可能であり、地域の者が互いに関心を持つこと、それぞれがわが子と他の子の安全に気を配ることが、事件を起こさせない何よりも抑止力になると考えます。1年生の登下校時、他の子も含めたグループを見守ってくれているお家の方の姿をよく見かけました。四箇郷はそんな地域なんだと私は思っています。

No Image

防犯ブザーの件、ご家庭でもよろしく願います。